

達し得たところに従って

鈴木寛 (Hiroshi Suzuki)*

July 20, 2019

10 すなわち、キリストとその復活の力を知り、その苦難にあずかって、その死のさまとひとしくなり、11 なんとかして死人のうちからの復活に達したいのである。12 わたしがすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。13 兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、14 目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。15 だから、わたしたちの中で全き人たちは、そのように考えるべきである。しかし、あなたがたが違った考えを持っているなら、神はそのことも示して下さるであろう。16 ただ、わたしたちは、達し得たところに従って進むべきである。
口語訳：ピリピ人への手紙 3 章 10-16 節¹

1 はじめに

みなさんは、「自由に、なにをしよう」と、言われたら、なにをしますか。

わたしは、約 40 年間大学で数学を教えてきましたが、今年の 3 月末に、定年を迎え、4 月からは、まったくゼロから、新しい生活をはじめました。

今は、基本的に 4 つのことをしています。数学の研究、データ・サイエンスと AI の勉強、サービス・ラーニング、そして、聖書です。

サービス・ラーニングというのは、簡単に言うと、ボランティア活動をしながら、学ぶことで、いまは、児童養護施設と、母子生活支援施設で、学習支援をし、World Vision という発展途上国の子どもの支援をしている団体の事務ボランティアをしながら、学んでいます。

2003 年 4 月から、大学の中にある教員住宅で、学生さんたちと一緒に問いを考えながら聖書を読む聖書の会

を始め、2011 年 1 月から、メールとホームページを利用して、聖書通読の会を主催して来ました。聖書の会は、学内住宅から引っ越す直前の、昨年 12 月 20 日の 407 回目を最後とし、いったん、一区切りをつけました。途中、1 人か 2 人しか集まらないときもありましたが、A 君（A 先生のことですが）が出席してくれるようになってから、数人になり、O さん（O 先生のことですね）が出席してくれるようになってから、10 人ほどになり、どんどん増えて、最後は、毎週 30 人ぐらい集まるようになっていました。A 君や、O さん、そして他の多くの人たちに支えられて、続けることができたことを、とても感謝しています。聖書通読の会は、いまでも続いており、毎週日曜日に、70 人ほどの人たちに、メールを送っています。

今日は、そのような会をとおして、考えながら聖書を読み、学んできたことから、ほんのすこしお話をさせていただきます。

2 達し得たところに従って

タイトルを「達し得たところに従って」としました。ピリピ人への手紙 3 章 16 節の口語訳からとった言葉です。ピリピ人への手紙は、囚われの身のパウロがローマの監獄から書いたと言われています。囚われの身ではありませんが、とても、そのようには思えないくらい、自由に、生き生きと語っています。そして「ただ、わたしたちは、達し得たところに従って進むべきである。」と言っています。なにをしたらよいか、完全にわかっているわけではないけれど、求めつつ、いま、達し得たところに従って、進もうと言っているのです。

何を求めているのでしょうか。前後を読むと、いろいろな言葉で表現されていますが、わたしは、「神様のみこころ」「神様が何を望んでおられるか」または「真理」と表現してもよいのではないかと思います。これからは、「神様のみこころ」「神様が何を望んでおられるか」を短く「真理」という言葉で言い換えることにします。

「達し得たところに従って」ということは、パウロさんも『真理』を、まだ、完全には、わかっていないの」と聞きたくなります。

しかし、自分の身に置き換えてみると、そうなんだろうなと思います。いままで、これが、真理だ、と思ったことはいろいろとありますが、しばらくすると、それではない、これだ、という発見があり、少しずつ、「真理」と信じる内容が、変わってきているからです。少しずつ、「真理」の理解が深められ、神様に、成長させていただくことを願っています。

*キリスト教愛真高等学校での礼拝メッセージ 2019 年 10 月 16 日
¹ いずれにせよ、わたしたちは到達したところに基づいて進むべきです。

新改訳
それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。

新共同訳
Only let us hold true to what we have attained. (New Revised Standard Version)

Only let us live up to what we have already attained. (New International Version)

3 戒め

いまは、その「真理」を、次のように考えています。

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きながら、
一人ひとりを愛し、そして互いに愛し合いなが
ら生きていく未来をめざすこと。

です。ヨハネによる福音書 13 章 34 節に

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与え
る、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがた
を愛したように、あなたがたも互に愛し合いな
さい。（口語訳）²

とあります。わたしは、特に、この「互いに」というこ
とばに惹かれています。愛するということばとして使っ
ている、原語のギリシャ語の意味は、“Welcome”「歓
迎する」という言葉です。互いに歓迎し合うのです。イ
エス様に言われたから、自分はどんなひとでも、歓迎す
るように努力すよと言っているわけではありません。「お
互いに」なのです。これは、難しいですね。「わたしがあ
なた方を愛したように」とあります。イエス様が、わた
したちを、歓迎してくださったように、わたしたちも、
互いに歓迎し合いなさい、と招かれています。このへん
に、鍵がありそうです。

どのようにしたら、互いに歓迎し合うことができるの
でしょうか。ローマ人への手紙 12 章 15 節にある、

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。
（口語訳）³

に、もう一つの鍵があるのではないかと考えています。
これも、簡単ではありませんね。わたしは、真理、すな
わち、「神様のみこころ」「神様が何を望んでおられるか」
は、このように、

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きながら、
一人ひとりを愛し、そして互いに愛し合いなが
ら生きていく未来をめざすこと。

これかなと考えています。

そして、「達し得たところから進んで進む」ということ
は、「真理」を手にするまでは、進まないということでは
ありません。わたしは、「真理」をもとめ続けながら
「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きながら、一人ひ
とりを、そして互いに愛し合いながら生きていく未来を
めざして日々生きていきたい」と願っています。」

そのためには、周りの人と、仲良くしていればよいの
かな、と考えるかもしれません。たしかに、そのことは、
とてもたいせつですね。でも、世界中の一人ひとりのこ
とを考えると、周囲のひとのことだけを考えていては、
互いに愛し合う未来をめざすことにはならないのではな
いでしょうか。さらに、現在がたいへんな変化のときで
あること考えると、互いに愛し合いながら生きていく未
来をめざすには、どうしたらよいのか、簡単な間ではあ
りません。

²あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。（新共同訳）

³喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。（新共同訳）

最近、World Vision という団体で、ボランティアをし
ていると言いましたが、その創始者のボブ・ピアスは、
『何もかも』はできなくとも、『何か』はきっとできる」⁴
と言って、この世界規模の働きをはじめました。みなさ
んは、どのようなことを目指して進みますか。

わたしは、みなさんに、“World Vision”を持ってい
ただきたいと願っています。“World Vision”とは、日本
語では「世界の未来を思い描くこと」という意味です。
わたしは、“World Vision”とは、「神様のこころを心」
とすること、と表現できるのではないかと思います。

皆さんは、どのような、世界の未来を思い描きますか。
神様は、自由になんでもおできになる方です。その、神
様は、どのような世界を望んで、どのように働いておら
れるのでしょうか。イエス様が、生涯を通して示してく
ださったように、喜ぶものと共に、喜び、泣くものと共
に泣き、一人ひとりの痛みを受け取り、仕えてくださっ
たように、神様ご自身も、日々働いておられるのではな
いかと、思います。そして、わたしたちが、互いに愛し
合う未来を願っておられるのではないのでしょうか。

4 最後に

みなさんは、基督教愛真高等学校で、何を学んでお
られますか。

わたしたちが、学び続けるのは、真理を、神様のみ心
を、神様が望んでおられることを、まだ、しっかりと得
ていないから、そして、達し得たところから進んでい
くためです。しっかりと勉強していただきたいと思いま
す。それは、みなさんが「神様のこころを心とし」「世
界の未来を思い描きながら」「すべてはできないけれど、
なにかはきっとできる」と信じて、進み続けるためです。
わたしも、学び続けます。パウロさんとともに。

愛真高等学校での生活を通しての学びも、国語や、英
語や、数学や、理科や、社会や、その他すべて、得意で
はなくても、神様に使っていただくために、そして、互
いに、愛し合う未来のために、“Expand your horizon”
みなさんの地平線を広げながら、真理をもとめ、神様の
こころを心としていていただきたいと願っています。

祈り

祈ります。

天の父なる神様。どうか、ここにいる、生徒さん、先
生方、職員の皆さんと共に、あなたのみ心をもとめ、あ
なたが望んでおられることを、探し続けながら、達し得
たところから進んでいくことができるようにしてく
ださい。そして、喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に、泣
く者として、一人ひとりを愛し、そして、互いに、愛し
合うようにさせてください。

アーメン

⁴<https://www.worldvision.jp/about/>「すべての人々に何もかもはできなくとも、誰かに何かはできる」“Even if you cannot do everything, you can do something for someone.”（出典不詳）
<https://www.wvi.org/our-history> “Let my heart be broken by the things that break the heart of God.” Robert Pierce